

諮問第21号（東京都環境基本計画の改定）の諮問趣旨について

現在の東京都環境基本計画に基づく施策の成果と課題、国内外の社会経済状況等を踏まえ、新たな環境基本計画のあり方を検討する。

（改定にあたっての基本的な考え方と検討課題）

■将来に向けて、東京をさらに成熟した持続可能な都市としていくための新たな目標と施策の方向を検討する。

【健康で安全な環境の確保】

○世界の大都市で最もきれいな大気環境の実現を目指す

- 最新鋭の環境対応車の普及拡大
- 交通量削減対策の強化（交通需要マネジメントの再構築）
- 光化学スモッグの改善に向けた対策強化

○化学物質等による環境リスクを低減する

- 予防原則に基づく化学物質対策
- 土壌汚染など過去の「負の遺産」を解消する仕組みづくり

【都市と地球の持続可能性の確保】

○世界一の低CO₂型大都市を目指す

- 温室効果ガスの総排出量を早期に減少に転じさせる施策の強化
- 再生可能エネルギーの飛躍的な利用拡大
- 自動車へのバイオマス燃料の導入
- 中長期的な、温室効果ガス削減目標の設定と計画化

○ヒートアイランド対策のさらなる展開

- 中長期的視点に立った都市づくりと連携する施策の強化

○循環型社会への変革

- 廃棄物の発生抑制・リサイクルと適正な処理の推進

【自然環境の保全と再生】

○「みどりと水の都」の復活を目指す

- 東京の緑の危機的状況を踏まえた新たな施策の展開
- 東京湾の再生

【持続可能な東京の実現に向けた仕組みづくり】

- 都市づくりにおける環境配慮のルール化
- 経済的手法の活用